

東京国際空港（羽田空港）D滑走路建設工事 ～お盆も休みなし／山砂運搬は休止～

記者発表資料

国土交通省は、我が国航空ネットワークの拠点空港として極めて重要な位置を占める東京国際空港（羽田空港）において、4本目の滑走路となる『D滑走路建設工事』を平成22年10月の滑走路の供用開始をめざし、24時間365日の昼夜連続施工により工事を進めています。

『D滑走路建設工事』では、H19年、H20年と同様に、このお盆期間中も工事を休まず、24時間365日の昼夜連続施工により急ピッチで工事を進めます。

お盆期間中の主な作業としては、埋立部では揚土（陸地化）工事、棧橋部ではジャケット（滑走路の土台）の据付・床版設置工事、連絡誘導路部では桁架設・床版設置工事、埋立棧橋接続部では護岸工事等を実施します。引き続き、航空機の運航の妨げにならないよう細心の注意を払いながら、より一層の安全施工に努めてまいります。

ただし、千葉県内の山砂運搬については、お盆期間中に多数の観光客（一般マイカー）も想定されるため、沿道環境や一般マイカーへの影響を極力回避する観点から、8月13日～16日までダンプトラックによる山砂の陸上運搬を休止します。このため、羽田の現場では、ストック材料等を活用して工事を進めます。

平成21年8月7日（金）

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
都庁記者クラブ 千葉県政記者クラブ 東京航空記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所
D滑走路プロジェクト推進室 北川(俊)・今・腰原
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階
電話 03-5756-6573
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

お盆期間中の主な施工内容



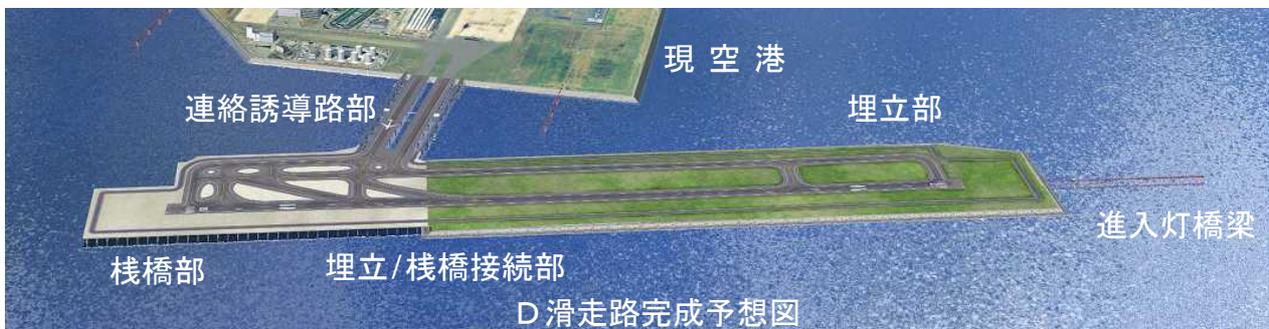
床版据付状況



ジャケット据付状況



揚土工施工状況



(上) D滑走路完成予想図。(資料：東京国際空港D滑走路外工事JV)

(下) 上空から見たD滑走路建設現場(2009年6月23日東京国際空港D滑走路外工事JV撮影)
D滑走路島の完成形が見えてきたことがわかります。